

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3623		
科目名	球技論演習		
担当教員	山本 大		
対象学年	4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 3		
講義室	1405	単位区分	選,選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	3000シリーズ		
科目小分類	6 専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。 D P 4－F〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答える ための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 3－G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 3－H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 D P 4－I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識・専門技能（40%） F 1 探求力・課題解決力（20%） G 1 状況把握力・判断力（20%） H 1 論理的思考力（5%） H 2 批判的思考力（5%） I 1 理解力・分析力（10%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカークラブ（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わっています。これらの経験をもとに、本授業では対話を通して学習者本人の実践やコーチングの能力向上の手助けを行います。（第7、13、14回）		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本演習では、球技論で学習した球技に分類される各種目の種目特性論、戦術の分類、戦術の系統発生、チーム戦術の機能構造、グループ戦術の機能構造、戦術力の個体発生、戦術力の獲得と修正、戦術力のテストと評価に関する知識を用いて、自分の専門種目の特性を他の種目との比較研究から深く理解し、自らの実践やコーチングに役立つ能力を養います。授業形態は、調査・研究・発表を中心とした演習により行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 球技・戦術力・機能構造・コーチング		

授業の趣旨	■副題 自らの実践とコーチングに役立つ能力の獲得から逆算して考えよう。 ■授業の目的 球技に関する基礎的知識を習得したうえで、各自の専門種目の特性や戦術について涵養するとともに、他の種目との比較から理解する能力及び発表・討論を通して問題解決能力を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 球技論で学んだ知識をもとに、各自の専門種目を対象とした歴史・特性・分類、個人・グループ・チーム戦術、ならびに技術・戦術力を評価するテストに関連する文献を精読のうえ発表・議論を行います。さらに、他種目との比較から各自の専門種目の機能構造を理解することで、実践やコーチングへの応用を可能にします。	
総合到達目標	■専門種目において自らの実践やコーチングに役立つ能力を養うために、その特性や戦術力等を理解し、より実践的なコーチングの方法論を修得する。 ・専門種目における歴史・特性・分類等について整理のうえ説明できる。（第1～6回） ・専門種目についてその機能構造から戦術力を理解し、コーチングへ活かすことができる。（第7～11回） ・授業内容をもとに専門種目の魅力を他種目との比較からわかりやすく発表し、議論できる。（第12～15回）	
成績評価方法	■研究発表2回（40%）適応ルーブリック E、F、G、H、I （評価の観点）各自の専門種目の特性を他種目との比較から分かりやすく自分の考えを示せるか。 （フィードバック方法）授業時間内に解説します。 ■レポート2回（40%）適応ルーブリック F、G、H、I （評価の観点）各自の専門種目の特性を他種目との比較から理論立てて自分の考えを示せるか。 （フィードバック方法）2週間以内に添削のうえ返却します。 ■授業参加度（質疑応答など：20%）適応ルーブリック F、G、H、I （評価の観点）研究発表に対して積極的に質問するとともに自分の意見を述べるができるか。 （フィードバック方法）授業時間内にその都度評価します。	
履修条件	球技論（SSCS2332）を履修していることが望ましいです。	
履修上の注意点	積極的な発言を期待しています。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の概要、進め方、その評価方法を説明する。 ③予習（120分） シラバスの内容を読み、各自専門種目の語源・競技規則等について調べておく。 ④復習（120分） 各自専門種目の歴史についての文献を一読しておく。
	2	①授業テーマ 球技の歴史 ②授業概要 専門種目の歴史について調べ、その起源を種目別にまとめ、議論することができる。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 専門種目の歴史について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
	3	①授業テーマ 球技の特性(1) ②授業概要 ネット型やゴール型等の球技形態の分類等から種目特性について調べ、その変遷を種目別にまとめ、議論することができる。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 専門種目の球技形態等について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
	4	①授業テーマ 球技の特性(2) ②授業概要 専門種目の競技規則（ルール）から種目特性について調べ、その変遷を種目別にまとめ、議論することができる。（E1・F1・G1・I1） ③予習（120分） 専門種目の競技規則（ルール）について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
	5	①授業テーマ 球技の戦術史 ②授業概要 専門種目の戦術史について調べ、その変遷傾向からの知見を種目別にまとめ、議論することができる。（E1・F1・G1） ③予習（120分） 専門種目の戦術史について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
	6	①授業テーマ 専門種目について歴史・競技規則・戦術史に関する特性という観点から発表（評価対象） ②授業概要 専門球技種目について歴史・競技規則・戦術史に関する特性という観点か

	らこれまでまとめた資料を他種目との比較から発表のうえ議論することができる。（F 1・F 2・H 1・H 2） ③予習（120分） これまでの資料等を歴史・競技規則・戦術史に関する特性という観点からまとめておく。 ④復習（120分） 議論から得られた改善策について次週提出のレポートにフィードバックする。
7	①授業テーマ 発表に対するフィードバック① ②授業概要 発表・議論した結果を担当者の実務経験を踏まえてフィードバックし、他種目との比較研究から実践とコーチングへの応用という観点からレポートにまとめることができる。（F 1・F 2・H 1） ③予習（120分） これまでの資料を発表での議論に基づいてレポートをまとめ、提出する。 ④復習（120分） レポートに対するフィードバックに備え、発表に対するフィードバックをもとにレポートを修正しておく。
8	①授業テーマ 球技における競技規則の変遷から見たグループ戦術とチーム戦術の変化 ②授業概要 専門種目の競技規則の変遷について調べ、それによるグループ戦術の変化を種目別にまとめ、議論することができる。（E 1・F 1・G 1）レポートに対するフィードバックを実施する。 ③予習（120分） 専門種目の競技規則の変遷から見たグループ戦術の変化について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
9	①授業テーマ 球技におけるグループ戦術とチーム戦術から見た機能構造 ②授業概要 専門種目のグループ戦術から見た機能構造について調べ、他種目との比較から種目別にまとめ、議論することができる。（E 1・F 1・H 1・I 1・I 3） ③予習（120分） 専門種目のグループ戦術から見た機能構造について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
10	①授業テーマ 球技における戦術力の獲得と修正 ②授業概要 専門種目の戦術力の獲得と修正について調べ、その作戦・戦略を他種目との比較から種目別にまとめ、議論することができる。（E 1・F 1・G 1・I 3） ③予習（120分） 専門種目の戦術力の獲得と修正について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
11	①授業テーマ 球技における戦術力のテストと評価 ②授業概要 専門種目の戦術力のテストと評価について調べ、その評価方法を他種目との比較から種目別にまとめ、議論することができる。（E 1・F 1・G 1） ③予習（120分） 専門種目の戦術力のテストと評価について調べておく。 ④復習（120分） 本時の内容を他種目との比較から整理しておく。
12	①授業テーマ 専門種目について戦術に関する実践とコーチングへの応用という観点から発表（評価対象） ②授業概要 専門球技種目について実践とコーチングへの応用という観点からこれまでまとめた資料を他種目との比較から発表のうえ議論することができる。（F 1・F 2・H 1・H 2） ③予習（120分） これまでの資料を実践とコーチングへの応用という観点からまとめておく。 ④復習（120分） 議論から得られた改善策について次週提出のレポートにフィードバックする。
13	①授業テーマ 発表に対するフィードバック② ②授業概要 発表・議論した結果を担当者の実務経験を踏まえてフィードバックし、他種目との比較研究から実践とコーチングへの応用という観点からレポートにまとめることができる。（F 1・F 2・H 1） ③予習（120分） これまでの資料を発表での議論に基づいてレポートをまとめ、提出する。 ④復習（120分） レポートに対するフィードバックに備え、発表に対するフィードバックをもとにレポートを修正しておく。
14	①授業テーマ レポートに対するフィードバック ②授業概要 提出したレポートを担当者の実務経験を踏まえて、そのフィードバックをもとに修正し、改善する。（F 1・F 2・G 1・H 1・I 1） ③予習（120分） これまでの資料を発表のフィードバックに基づいて整理しておく。 ④復習（120分） レポートに対するフィードバックをもとに最終レポートをまとめる。
15	①授業テーマ 球技論演習のまとめ ②授業概要 授業の内容について総括する。最終レポートを提出する。

	③予習（120分） 最終レポートをまとめておく。 ④復習（120分） これまでの授業内容を振り返り、整理する。
関連科目	球技論（SSCS2332）
教科書	スポーツデータサイエンス 朝倉書店
参考書・参考URL	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

